



笑顔と輝きに満ちた谷原中

谷原中だより

練馬区立谷原中学校

校長 中嶋 雅彦

平成 29 年 3 月 16 日

第 11 号

年度末を迎えて

校長 中嶋 雅彦

2月16日(木)から3泊4日の2年生スキー移動教室、2月28日(火)からF組のスキー移動教室、そして、3月6日は3年生の校外学習でした。校外での活動を通し、生徒の身近にいる時間が長くとれたことにより、普段以上に生徒の現状を肌で知ることができました。

2年生のスキー移動教室では、2か月以上も前から、実行委員会による生徒中心の運営が行われていました。生徒自らの力で大きな宿泊行事を成功させたいという思いが伝わってきました。宿泊最終日に、宿舎であるベルデ軽井沢の支配人の方から、「谷原中の生徒は、先生から言われてやっているのではなく、自分たちで考え、物事を良くしていこうという行動が見られました。」とのお言葉をいただきました。2年生のまとめとなるスキー移動教室は、新3年生に向けた良い取り組みになったと確信しました。

F組のスキー移動教室では、インストラクターの方のお話をよく聞き、最終日には、具合の悪くなる人も出ず、全員がリフトに乗ってスキー実習を行うことができました。食事や睡眠などの生活管理をしっかり行い、自らの健康を維持することができたことによるものだと思います。卒業していく3年生にとっては良い思い出となり、1、2年生にとっては次年度への貴重な経験になったことでしょう。

3年生は、校外学習、芸術鑑賞教室、講演会、伝統文化体験(餅つき)、合同レクレーションなどの様々な行事や活動がある中、卒業式の準備を粛々と進めていました。その真剣な取組姿勢は、1・2年生の見本となり、これからの谷原中をさらに高めていく校風や環境を作ってくれました。次年度もこの良き伝統が引き継がれ、さらに高められていくことでしょう。

4月に初めての後輩を迎える1年生にとっても、今、落ち着いた雰囲気生活していることは、新しい谷原中学校を作っていく上では、とても大事なことを考えています。

このような年度末に、新しい年度に向けての準備を進めるにあたり、保護者の皆様には、保護者アンケートを実施させていただき、貴重なご意見をいただいたことをあらためて感謝いたします。2月には、学校評価者委員の皆様による、学校関係者評価を行いご意見をいただき、さらに、校内で本年度の谷原中学校の成果と課題について、協議を重ね次年度に向けた教育課程や教育方針を作成いたしました。

結びになりましたが、保護者・地域、また、関係諸機関の皆様には本校の学校教育に関し、ご協力ご理解を頂ましたことに、深く感謝申し上げます。新年度も何卒本校へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

【2年スキー移動教室】2/16 木~2/19 日



晴れた空の下、霧深い日もありましたが、軽井沢でのスキー移動教室は、事故なく有意義な4日間でした。当初は、消極的だった生徒が、最終日にはリフトに乗れるまで上達した事実に、生徒の成長の可能性に改めて驚き、支えてくださった指導員の方々に感謝の気持ちです。

【ボッチャ体験会】2/22 水

体育館で全校生徒が集まり、ボッチャ体験会をおこないました。ゲストとして、東京ボッチャ協会から佐藤駿選手と藤井金太郎選手をお招きして、実際の技術披露や生徒との実技交流会などが展開されました。佐藤選手は、生まれたときから左腕のみを動かすことができ、水泳選手だった藤井選手は中1の頸椎損傷で首から下が動かずに握力も0（ゼロ）です。その状況で繰り出す技に谷原中生が素直に「おーっ」と感動の声を出せて、とてもよい時間が流れました。



【F組スキー移動教室】2/28 火~3/3 金



みんなが自分の目標を設定して挑戦できたこと。そして、ケガなく全員で4日間を過ごせたことが何よりの成功です。

【講演会】3/8 火



毎年本校では、練馬区青少年育成谷原地区委員会北原小校区委員会との共催で講演会を行っています。今回は、ボッチャ体験会でお越しいただいた佐藤駿選手のお母様であり、東京ボッチャ協会副会長の佐藤勝枝様からお話を伺いました。双子の超未熟児として生まれた駿君とお兄さんの翼君との歩みを通して、「普通とは何…」「まず隣の人を理解する」「ボランティアの考え方」等、多くの経験を通してきたからこそ生まれる貴重な言葉をいただきました。

今後の予定

3/17 金 卒業式 3/24 金 修了式

4/6 木 平成29年度1学期 始業式

4/7 金 入学式

